

食べることは人とつながり生きること

給食だより

箕面保育園 給食室 2019年度1月号〈No.58〉



よい年越しを

お過ごしください



あっという間に年末ですね。今年も保育園では、給食まつりやおもちつき大会などたくさんの食べ物に関わる行事やとりくみを子どもたちとおこなってきました。春夏の栽培活動やお手伝い活動に始まり、クッキングやお弁当箱の日など、楽しみながら食に触れる機会がたくさんありました。親子で食を楽しむ場もあり“おいしい！の笑顔が溢れる1年”をともに過ごすことができ、嬉しく思います。お正月休みは美味しものを食べてゆっくりお過ごしくださいね。

1月の献立では、去年好評だったおせち料理、お雑煮、七草粥を取り入れています。古くから伝えられている伝統的なお正月料理です。しかし、どんな由来があるのか知る機会は少ないですね。由来や意味を知ってから食べると、よりいっそう文化や季節を感じられるのではないかと思います。お正月について子どもたちとお話ができたらいいですね！保育園では、1月7日におせちメニューを作ります。子どもたちと一緒に食べながらおせちの意味を伝えたいと思います。

お雑煮の由来と意味

平安時代に、歳神様に供えた餅や、畑で取れたさまざまな具材を、その年の最初に汲んだ水と、焚いた火で煮込み、元旦に食べたのが慣例となりました。そこからお正月にお雑煮を食べることになったと言われています。神さまにお供えたものをお下がりとして頂くことは、**「神さまのバツ一を頂ける」**という言い伝えがあったことから、1年の幸福や豊作を祈願したと言われてい



七草の種類と食べる意味

七草の種類①芹(せり)②薺(なすな)③御形(ごぎょう)④繁縷(はこべら)⑤仏の座(ほとけのざ)⑥菘(すずな)⑦蘿蔔(すずしろ)です。それぞれに意味がありますが、七草粥で、新しく迎える1年の無病息災を願い食べられていました。今では、お正月に食べ過ぎて弱った胃腸を休め、栄養も取れることから食べられています。



今年は、お雑煮と七草がゆについてお伝えしようと思います。

親子でニコニコおもちつき大会



お天気に恵まれ、約280名の参加がありました。子どもたち、保護者、地域の方と共におもちつき大会が行われました。重たい杵を使って、力いっぱいおもちをつく姿はとても素敵でした。つき立てのおもちと豚汁を親子で楽しく食べる姿が見られて、お正月がもうすぐそこに近づいてきているなと感じました。今年も各クラスのお部屋に飾る鏡餅をつくりました。お部屋に飾る時には意味を伝え、子どもたちがどんな反応をしてくれるのか楽しみです。おもちつき大会当日には、豚汁以外にも、きな粉や砂糖醤油でおもちを味わいました。お家庭ではどのようにして食べますか？磯辺巻き、お雑煮、おしるこ、ずんだなど、おもちにはたくさんの食べ方があります。いつもと違った食べ方をしてみると面白いですね。是非、いろいろな食べ方で楽しんでみてくださいね♪

お部屋に飾る鏡餅をつくりました。お部屋に飾る時には意味を伝え、子どもたちがどんな反応をしてくれるのか楽しみです。おもちつき大会当日には、豚汁以外にも、きな粉や砂糖醤油でおもちを味わいました。お家庭ではどのようにして食べますか？磯辺巻き、お雑煮、おしるこ、ずんだなど、おもちにはたくさんの食べ方があります。いつもと違った食べ方をしてみると面白いですね。是非、いろいろな食べ方で楽しんでみてくださいね♪



クリスマスケーキ、ちからをあわせてつくったよ！

12月にはたくさんクッキングをしました。たんぼぼ組・れんげ組がホットケーキを、さくら組・あじさい組がクリスマスケーキを作りました。「できたよ〜！」と、どのクラスも出来上がりを給食室に見せに来てくれました。その時の子どもたちの顔は、美味しくできあがったことに満足げで、とても嬉しそうでした。自分で飾り付けをしたり、お友だちと一緒に作ったものは、いつもと違い食べたい気持ちも膨らみますね。これからも、いろいろなクッキングを子どもたちと楽しんでいきたいです。



今月のお弁当の日は4日(土)【全園児】です。
お弁当箱の日は23日(木)【0.1~5歳児クラス】です。